



「宮古創生」

持続可能なまちの実現へ、共に

市民の皆さまには、日ごろから市政発展にご協力いただき、ありがとうございます。このたび宮古市議会において、令和3年度に市が行う事業の予算が認められました。この予算の説明資料として、令和3年度予算説明書「ことしはどんな仕事をするの？」を作成し、すべての世帯にお配りいたします。

令和3年度は、「新型コロナウイルス感染症対策の着実な推進」、「再生可能エネルギーによる地域内経済循環」、「持続可能な公共交通の構築」を柱に据えて、SDGsに掲げる「持続可能な社会」の形成に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症は、感染拡大から1年が経過し、現在も市民生活や市内経済に深刻な影響を与えております。令和3年度は、順次ワクチン接種が始まるほか、地域外来・検査センター及び休日急患診療所の運営を継続し、必要な方にPCR検査を受診できるよう検査体制の充実を図ります。引き続き、「感染予防」「暮らし経済」の両立に全力で取り組んでまいります。

再生可能エネルギーにおいては、これまで市域外へ流出していたエネルギーに関わる費用を市域内にとどめる、地域内経済循環を推進してまいります。ドイツのシュタットベルケ（都市公社）をモデルとした宮古版シュタットベルケの実現に向け、発電事業や電力供給事業に対する出資を行い、再生可能エネルギーの地産地消の取り組みを先導してまいります。

また、公共交通においては、宮古市地域公共交通網形成計画に掲げる「みんなでつくる みんながつながる 公共交通」の実現を図ります。通学や通院などの生活交通の維持や公共交通の空白地への対策など、各種施策を推進いたします。バリアフリー化、キャッシュレス化などを支援し、誰もが利用しやすい環境を整えてまいります。

発災から10年が経過した東日本大震災・平成28年台風第10号災害・令和元年東日本台風災害の、1日も早い復興完遂とともに、被災者に寄り添った支援の継続に取り組んでまいります。

本市のあるべき姿「安定した仕事を持って、子どもを幸せに育てられるまち」を目指し、「宮古創生」持続可能なまちの実現へ、これからも歩みを進めてまいります。

令和3年4月

宮古市長 山本正徳

【目次】 令和3年度 予算説明書 「ことしはどんな仕事をするの？」

実施する事業の中から主要な事業を紹介しています。

ページ	内 容
1	令和3年度重点事業 新型コロナウイルス感染症対策の着実な推進 再生可能エネルギーによる地域内経済循環 持続可能な公共交通の構築
6	東日本大震災関連の施策 庁舎跡地公園情報発信事業 未広町線無電柱化推進事業 ほか
8	平成28年台風第10号・令和元年台風第19号関連の施策
9	産業振興 遊覧船整備事業／区界高原観光資源活用事業 野生鳥獣肉処理加工等検討事業／森林環境譲与税活用事業 漁業担い手確保対策事業／海面養殖施設整備事業・陸上養殖調査事業
12	子育て支援の推進 子ども医療費給付事業 施設等利用給付事業・副食費給付事業
13	健康・生きがいつくりの推進 障害児障害者一体施設整備事業 がん患者医療用補正具購入費助成事業
14	教育環境の整備 学力向上事業 小中学校校舎等改修事業
15	生活環境と道路交通網の整備 牛伏地区道路改良事業／崎山古里線道路改良事業／磯鷄金浜線道路改良事業 松山線道路改良事業／崎山松月線道路改良事業／新町根井沢線（第1工区）道路改良事業 前須賀日立浜線道路改良事業／和井内地区道路改良事業／近内岩船線道路改良事業
18	その他の事業 総合防災ハザードマップ作成事業 空家対策事業
19	その他の生活応援情報
21	資料編 令和3年度の一般会計、特別会計などの予算規模 ほか